

一般質問の概要

平成 28 年第 1 回 二宮町議会定例会

○3月9日（水）午前9時30分～

（渡辺訓任、二宮節子、小笠原陶子、一石洋子 各議員）

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

※議員の質問時間は、1件につき40分、2件以上は60分です。ただし町執行部側の答弁時間を含みません。

No	質問予定議員	質問概要
1	渡辺訓任 議員	<p>国民健康保険税の負担軽減を求める （放映件名：国民健康保険税の負担軽減を求める）</p> <p>国民健康保険は、他社会保険に加入できない国民が加入する皆保険制度を支える重要な制度である。そのため、加入者は様々な経済的な状況を抱えている。所得格差が問題になる中、保険税負担が相対的に重くなり制度に影響を及ぼすことが懸念される。国も今年度（2015年度）より、制度の安定化のため、低所得者に対する支援を拡充、全国規模では1700億円の支援を始めた。</p> <p>一方、国民健康保険税の徴収方法については、わが町では4方式をとり、応能負担としての所得割と資産割、応益割として均等割、平等割を課している。資産割は、事業用資産でなくても賦課されるため、負担感を高めている。また、均等割は人頭税とも言えるもので、小児医療費の窓口負担が無くなっても、実質的に各世帯の負担を求めるものである。</p> <p>国民健康保険税の負担軽減を求める立場から、資産割と19歳未満の均等割の撤廃について町の考えを問う。</p> <p>1) 町で4方式を採用している理由は何か。 2) 2015年度の決算見通しの中で収納状況などの状況はどうか。 3) 資産割、均等割が町の国保収入の中で占める状況、金額や人数・世帯数はどうか。また、高齢者世帯で資産割が国保納税額に占める割合を把握しているか。</p> <p>まちづくりのビジョンと団地中央について （放映件名：まちづくりのビジョンと団地中央について）</p> <p>昨年12月、議会は百合が丘保育園の一色小学校への併設について意見書での提言を行った。町長の施政方針でも、「一色小学校を中心とした地域をモデル地域に選定して、県住宅供給公社などの関係機関や地域の人材なども連携を図りながら地域住民を中心とした協議会を設立し、地域活動の実現性・持続性を高める」ことに取り組むとしている。一方、予算案では、サービスプラザ運営見直しで200万円の削減をうたっている。団地中央近辺には、店舗・病院・郵便局・銀行支店があり、駅前とは違う機能があり今も重要であると考え。今後の町北部のまちのあり方の中で、団地中央の機能をどう考えるか。</p> <p>百合が丘、緑が丘を含め、町北部は二宮町の人口ビジョンで占める位置は大きい。相続による住宅敷地の細分化・墓地の建設など、今後、環境・景観も大きく損なわれる可能性がある。開発要綱を罰則付きで条例化する作業が進められているが、まちづくりの理念をうたう必要は無いのか。まちづくりの理念をうたう条例について町の考えを問う。</p> <p>1) 町全体の中での団地中央の位置づけは。また、サービスプラザの位置づけと今後は。 2) コミュニティバスの団地中央への増発は。 3) 理念をうたう「まちづくり条例」の制定についてどう考えるか。</p>

2	二宮節子 議員	<p>野良猫対策について (放映件名：野良猫対策について)</p> <p>2013年9月に施行された改正動物愛護法は、自治体の目標として殺処分が無くなることを目指してとの言葉を明記し、飼い主や動物の取扱い業者にも、動物が命を終わるまで、面倒を見る終生飼養の努力義務を課した上で様々な対策を盛り込んであります。根底にあるのは、動物を大切にできる精神です。反面、無責任な飼い主のもとで放置された猫が野良猫となり、苦情を多く生んでいる実態も確かです。そこで町の取り組みについて以下5点伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 野良猫の被害の把握について伺う 2. 適正飼育の啓発について 3. 地域猫について 4. 愛猫カード推進 5. 猫の避妊 去勢に対する助成について
3	小笠原陶子 議員	<p>高齢者が暮らしやすい町にするために (放映件名：高齢者が暮らしやすい町にするために)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外出しやすい環境のため町では交通バリアフリー基本構想をもっているが策定後の成果と課題を伺う。 ②町の特徴に大型スーパーが集積し、買い物しやすい点があげられるが、町民も買い支えることでお互いの便利となる。町も啓発などの役割を担うことが重要だが町の考えを伺う。 <p>地域福祉計画について (放映件名：地域福祉計画について)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉計画の策定状況を伺う。 2. 地域包括ケアシステムの準備とどのように連携していくのか。
4	一石洋子 議員	<p>二宮町の子ども達に豊かな放課後を (放映件名：二宮町の子ども達に豊かな放課後を)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現在の学校内の公設民営の学童保育について、現状と課題について伺う。 ②二宮町の子どもと保護者に選択肢がほしい。子どもの成長環境に資する民設民営の学童保育事業への町の支援について伺う。 ③国の放課後子ども総合プランはすべての児童を対象として次世代を担う人材の育成の観点から総合的な放課後対策を講じる必要があるとし、放課後子供教室を推進してきた。今までそして今後の二宮町の放課後子ども教室の取り組みで期待する効果は何か。 ④海外では子どもの放課後を学校教育と同等に重要視し、学校教育に補完的なトータルで子どものワークライフバランスというべき支援をしている国が多い。対して我が国の政策は対処的で子どもの視点に欠ける。管理を旨とする学校施設に集中する放課後対策に疑問を覚える。単なる安全な活動場所を優先せず、子どもを学校のストレスから解放される地域に帰すべきと考える。地域の児童館や公園を用いた、多様な人々が関わる放課後子供教室について町の考えを伺う。